

電友会四国連合会報

第 50 号

60. 4



丹波入


目次

NTT発足にあたって……………NTT四国総支社長……………二	NTT新発足にあたって……………電友会四国連合会長……………三	公社のうごき……………三	「四国INSプラザ」オープン……………三	4月1日NTT発足……………四	四国通信局が「四国総支社」に……………五	ニュータイプの電話機を発売……………五	電電公社人事異動……………六	共済会だより……………六	電気通信功労者の表彰……………七	訃報……………七	余米……………七	表紙のことば……………七	随筆……………八	猪谷 嘉夫	梶浦 照秀	福間 歓次郎
--------------------------------	---------------------------------	--------------	----------------------	-----------------	----------------------	---------------------	----------------	--------------	------------------	----------	----------	--------------	----------	-------	-------	--------

NTT発足にあたって

NTT四国総支社長

小 川 伸 夫



電友会の皆さまがたには、ますますご壮健でお過ごしのことと存じます。

平素は電気通信事業につきましていろいろの機会を通じて格別のご協力、ご支援を賜わり、心から感謝申し上げます。

さて、日ごとに大きく育ちつつある情報社会。その時代の変化に応え、この四月一日、電電公社は「日本電信電話株式会社」(NTT)として、新しくスタートしました。これにより、三〇有年続いた公社制度に終止符を打って、独占から競争下の民間企業へと生まれ変わり、まさに画期的な第一歩を踏み出したわけであります。これは同時に、我が国における電気通信事業の新時代の幕明けを意味するものと申せましょう。

新会社の目的及び事業は、日本電信電話株式会社法で「国内電気通信事業を経営する」と規定されておりますように、これまでのような単なる事業の運営ではなく、ふつうの企業と同じように企業としての自主性と責任をもって事業の経営を旨とすることとなりました。これまでも私どもは「お客さまあつての企業」をモットーに、お客さまからのどんな小

さな声にも耳を傾け、事業運営やサービスの向上に反映させるべく、お客さまとの幅広いコミュニケーション活動(オンライン活動)を展開してまいりました。

今後このオンライン活動をより一層充実し、親しまれ、信頼される「NTT」として、柔軟な発想と行動力を身につけ、地域の発展のお役に立ちたいと考えております。

自由競争原理の中で民間企業の仲間入りをさせていただいた、ということは先ほど述べたところですが、皆さますでにご承知のように、通信機器の分野においては既に激しい競争にさらされております。四月一日、NTT発足と同時に本電話機が自由化されたのに伴い、どなたもバラエティー豊かな電話機をお選びいただけるようになりましたが、NTTでも、さらに多彩な電話機、例えばハウディシリーズの多色化、新デザインの電話機等新機種が発売、あるいは売切りの実施、支払方法の多様化などを行ったところであります。ネットワークの分野においても、今後、競争は激しくなりますが、NTTは他の民間企業やお客さまから勉まべきは勉まび、切磋琢磨していく「たくましさ」を持ち、競争に耐えられる体力を身につけていくよう社員一丸となつて努力をいたします。

視野を広げてみますと、世界的に今、通信革命の波が押し寄せていることがわかりますが、我が国の電気通信事業も、これから二十一世紀にかけて、NTTを含め多くの企業がお互いに知恵を出し合いながら競争していくなかで、加速度的に発展する明るい将来性を秘めていることは間違いなく、NTTはその推進

的役割を果たしていくことができるものと確信しております。

NTTの企業理念は、コミュニケーションを通じて人間社会全体の発展に貢献していくこと、であります。すでに皆さまご存知のとおり、新会社NTTのシンボルマークは「ダイナミックグループ」。お客さまを発想の原点に、常に未来を考え、ダイナミックに自己革新を続け、世の中に役立つヒューマンな企業を旨とす、という私どもの決意をこめて表現したものです。

私どもは、このダイナミックグループのもと、地域性を最大限に取り入れたサービスの提供、常に創造と挑戦を続けることによって生み出す経営の改善、INSの基盤形成等を通じて四国の「未来を考える人間企業」として、輝かしい将来を築くため精一杯の努力をしております。

電気通信事業を愛され、深い関心とご理解をいただいている皆さまは、我々の先輩であり、かつまた、大切なお客さまであります。どうか皆さまがたには、ぜひとも地域社会と我が社の接点として、NTTに倍旧のご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

終わりにになりましたが、ますますのご健康とご多幸並びに電友会のご繁栄を心からお祈り申し上げ、NTT発足にあたってのごあいさつといたします。



NTTの新発足にあたって

電友会四国連合会

会長 泉 節太郎



本年四月一日から電電公社は民営に移行し、その名も「日本電信電話株式会社（略称NTT）」と呼ばれることになりました。

これは電信電話事業にとつては、まさに一大変革といわざるを得ません。

電信電話事業は、明治の創業以来、官営または公営事業として、電気通信の独占的企業態として今日に至りました。それが今、「株式会社」として、他の民間企業と同じ立場に立ち、しかも競争原理を導入して、他の同種企業と競争の立場に立つことになりました。かつて電信電話事業の民営化が叫ばれ初めた当時、わたしは、「電電は国鉄と異って黒字の経営ではないか。それを民営とは？」とその主張に一種の疑問をもち、「電電は、経営者に経営の自主権を与え、労働組合に労働三法を適用することにすれば、この経営形態を継続できるのではないか」と思っておりました。

ところがこれに対し、「電電は、今はなるほど黒字経営だ。だが、年ねん収支の幅は狭ばまりつつある。このままで行けば、ある時期には、今の国鉄の二の舞を踏むに至るであ

ろう」という主張がありました。そしてその主張が大勢を占めて、電電三法が遂に国会を通過するに至ったことは、ご承知の通りであります。

以上の経過を辿り、四月から新しく会社となったNTTは、一面日本一の巨大資本をもつ巨大企業として、前途洋々たるものがあるという見方がありますが、またそうなければならぬと思います。その境地に到達するためには、克服すべきいろいろな問題があるように思われます。

その一つは、職員の頭の切り換えと、職員間の気風の刷新だと思えます。一般には、国鉄や電電職員の意識を、「親方日の丸式」と評しているようでありますが、「官公営」といった衣を脱ぎ捨てて、裸になったNTT職員は、ここで一大精神革命を実現しなければならぬのではないかと、思っています。

経営者側には経営の自主権が与えられ、労働組合には労働三法が適用せられるようになった今日、すでに精神革命の地盤はつくられたと見てよいと思われませんが、しかし何分にも長い間に、無意識裡に培われた低流としての意識の変改は容易ではありません。しかも、事は急を要する問題であります。

というのは、競争の原理を導入した電気通信業界は、法的規制が解けると同時にリースはスタートするのであります。そこで緒戦におくれをとれば、これを取り返すことは容易ではありません。

このたびの電電の民営化は、「企業の活性化のために」というスローガンの下に行われたようであります。ところがその企業の活性

化の原動力となるものは、刷新された職員意識による活潑な活動力以外にはないと思えます。

そう考えてきますと、現役職員の方には、まことにご苦労とは存じますが、勇気を鼓してこの難関を突破していただきたいものと、期待して止みません。

われわれ電電OBは、すでに「日暮れて道遠し」の感はありますけれども、まだ多少の余力を残している者もおります。驚馬に鞭打ち、微力ながらも、後援の手を差し伸べたいと思っております。ご用があれば、お声をかけて下さい。

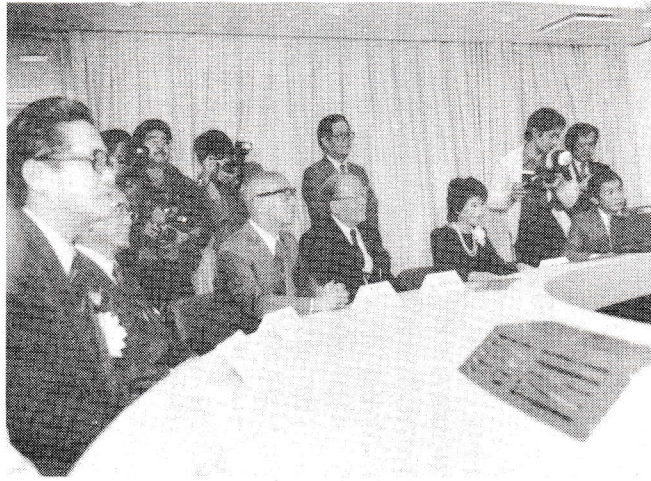
会社のうごき

「四国INSプラザ」オープン

INSをお客さまにより一層理解していただくために、NTT四国総支社構内に建設していた「四国INSプラザ」が完成、三月一六日オープンした。

このINSプラザには、デジタル電話機をはじめキャプションシステム、テレビ会議システムなど、INS関連の新鋭機器を実装展示、来館者が操作体験などを通じてNTTが推進しているINSの世界を理解していただくこととしている。

当日、新築・開館記念式典が、白石愛媛県知事ほか来賓多数の出席のもとで行われた。オープニングのあと、松山―高松間を光フ

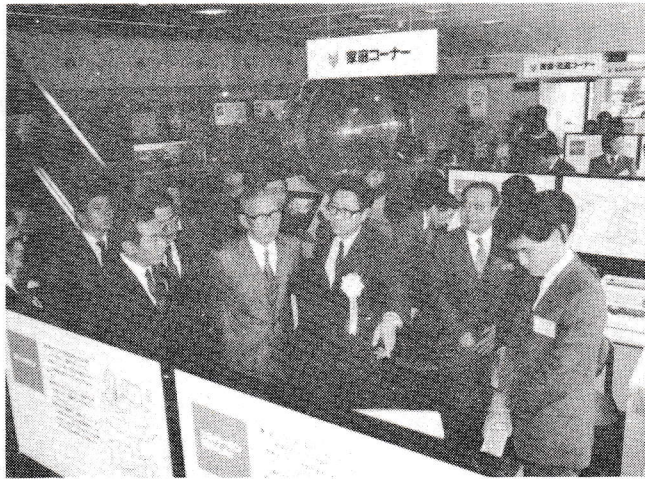


アイベケーブルで結んで設置したテレビ会議システムを使って、松山側は白石知事、榎田・伊予銀頭取らが、高松側は山口・四経連会長らが「会議」を行った。午後からは一般公開土曜日とあって一般市民が詰めかけ、初日からにぎわった。

プラザは企業通信システム等の需要の喚起、販売促進の場としても活用されるほか、科学万博一つくば'85（三月一七日～九月一六日）会場に開設している「でんでんINS館」のサテライト会場ともなっている。

デジタル系の機器は東京・千代田局のデジタル交換機に収容、三鷹のINSモデル

システムともデジタルネットワークで接続されており、また、アナログ系についても、通常の電話回線を高度に利用する機器をコーナーに展開しているところから、高度に構築した電気通信の多彩な利用形態の実体験を通じて、INSの理解促進が図られることになる。

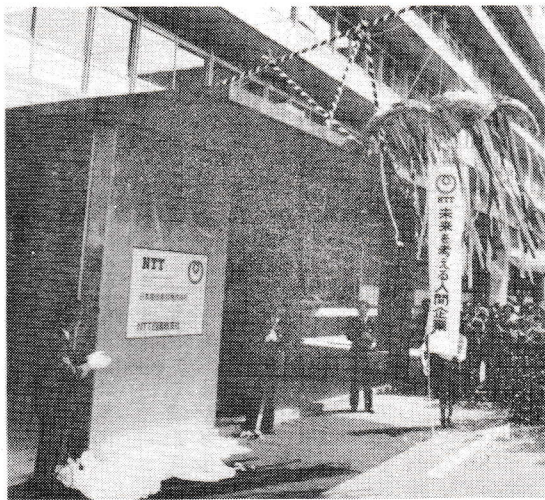


4月1日 NTT発足

四月一日、電電公社は「日本電信電話株式会社」(NTT)として民間企業に仲間入り、新たなスタートを切った。

当日、各地で発足記念セレモニーが行われ、新会社の出発を祝うとともに、競争社会でのさらなる飛躍を誓い合った。

四国総支社では付属棟大会議室に小川伸夫四国総支社長ら約三五〇名が出席。最初にNTT・TVオンラインで真藤恒社長のあいさつが流されたあと、四国総支社長が、新生NTTの船出にあたって「我々社員の「心」行動理念が変わらなければならぬ。常にお客さまを発想の原点として行動することによって、初めてお客さまにも社員にも電電公社からNTTに変わった意義が出てくる」と管内全社員に向けて事業発展のための今後の心



機関名

現 行	改 正
四 国 電 気 通 信 局	四 国 総 支 社
愛 媛 電 気 通 信 部	愛 媛 支 社
香 川 電 気 通 信 部	香 川 支 社
徳 島 電 気 通 信 部	徳 島 支 社
高 知 電 気 通 信 部	高 知 支 社
松 山 搬 送 通 信 部	松 山 搬 送 支 社
松 山 無 線 通 信 部	松 山 無 線 支 社

注 秘書課、文書広報課、監査部に冠している「局長室」を廃止する。

職 員

現 行	改 正
通 信 局 長	総 支 社 長
副 局 長	副 総 支 社 長
現 場 管 理 機 関 長	支 社 長
現 場 管 理 機 関 次 長	副 支 社 長

四月一日、公社から民間会社へ。NTT発足に伴って、通信局、現場管理機関の名称が変わった。
 新名称は別表のとおりであるが、電話局、電報電話局等現場機関は従来どおりとなっており、対外呼称としてNTTを冠することとしている。
 なお、監査部は廃止となり、MI、社内OAなど重要かつ重点的な現場指導等を行うための組織として「業務改善室」が設置された。

四国通信局が「四国総支社」に

— NTT発足で機関名変更 —

がまえなどを含め激励のあいさつをした。
 続いて社員代表にバッジなどを交付。また、このあと会場を玄関前に移し、新しい社章プレート除幕式をして、新会社発足を祝った。

ニュータイプの電話機を発売

四月一日から本電話機が自由化され、お客さまは数多くの電話機の中から自分の好みのものを自由に選べるようになった。

新生NTTでは、お客さまのご要望に的確に応えるため、四月四日から家庭で、オフィスでお使いいただくニュータイプの電話機を発売した。

▼デザイン・色がますます充実

— プッシュホン・ハウディー・シリーズ —
 ハウディー・シリーズに四色のボディカラーがそろいました。

(アイボリーホワイト/ワインレッド/チョコ/コレートブラウン/パールブルー)

また、新たに個性的なデザインの「ピラミッドタイプ」を追加、ハウディー・シリーズがさらに魅力的になりました。

▼電話機と留守番電話をコンパクトに一体化

— NTTの留守番電話機「レポンス」 —
 「レポンス」は電話機としての豊富な機能のほか、留守番電話の各種機能を備えており、さらにいたずら電話を防止する機能なども合わせ持っています。

I形、II形、III形の三つのタイプがあって、それぞれ利用態様に応じた使い方で、高機能を発揮します。

▼デザインを一新

— ハウディー・スピーカホン —
 ハウディー・スピーカホンは、LSI等電子部品を採用することにより、スピーカ通話の性能アップと低廉化を図っており、また、

デザインを一新、新たにイヤホン通話、再ダイヤル等多くの機能を追加しました。
 アイボリーホワイト、チョココレートブラウンの二色があります。

▼電話、ワープロ、パソコンを一台に

— 一機多才のコムエクセル —
 コムエクセルは、現在の企業OA化の中で特に要望の多い①機能の複合化②通信メディアの複合化③通信機能の充実④パーソナルユース化を実現した商品です。

電話、ワープロ、パソコンを一台にまとめしかも小形、高度で多彩な機能を備えています。



電電公社人事異動(敬称略)

大洲電報電話局長	宇和 同	宇和島 同	新居浜 同	観音寺 同	板野 同	鳴門 同	丹生谷 同	鴨島 同	伊野 同	窪川 同	土佐大月 同	嶺北杉 同	松山電信施設所長	松山統制電話中継所長	丸亀 同	徳島統制無線中継所長	四国電氣通信局秘書課長	北条電報電話局長	伊予中山 同	三瓶 同	野村 同	伊予吉田 同	川之江 同	多度津 同	高瀬 同	豊浜 同	南国 同	吾北 同	
(六〇・二・一)	小野 三鶴	玉井 三鶴	藤本 迪雄	白石 春三	松長 嘉重郎	土居 喜代美	右川 勝美	山地 孝一	有沢 仙一	宗我部 龍生	山本 茂基	坂本 和生	高田 治	間田 良照	白石 悟	水木 政美	松木 隆明	一色 秀雄	江崎 尚樹	山崎 宗春	酒本 好人	松永 政人	小田原 通泰	山本 一臣	三木 敏弘	西村 忠重	鹿庭 英世	梶田 留喜	五藤 哲雄

吾川電報電話局長

須崎 同

江川崎 同

赤岡 同

安芸 同

田野 同

今治統制電話中継所長

伊予三島統制電話中継所長

阿南 同

室戸電報電話局長

共済会だより(三十)

電氣通信共済会四国支部 福祉相談所

福祉相談所

○「就職等準備給付金」をお贈りします。

当会では公社、全電通、共済会の退職者(在職二十年以上)及び遺族の世帯で、つぎの要件に該当する方に「就職等準備給付金」をお贈りします。

一、所得の制限

世帯収入が、生活保護法で定めている最低生活費の一・五倍まで。

二、給付の要件

(1) 母子世帯の子が中学又は高等学校を卒業して一年以内に雇用されることが決定したとき。

(2) 心身障害者(児)等が社会福祉施設等で所定の課程を修了し、一年以内に雇用されることが決定したとき。

(3) 世帯員が社会福祉施設に入所するとき入所中の訓練等に多額の費用を必要とするとき。

るとき。

(4) 心身障害者(児)等が更生医療補装具、日常生活用具等の公的給付をうけたとき。

三、給付の額

(1) (3) の場合、一件につき七万円以内。
(4) の場合、一件につき一万円以内。

四、申込、問合せ

松山市持田町四の三

電氣通信共済会四国支部福祉相談所、
(電話〇八九九―三二―三三二二)

○OB大学の学習状況

愛媛地区

五十九年十二月六日

場所 松山市番町公民館

テーマ 老人保健

出席者 八三名

講師 松山通信病院第二内科部長
中島 隆 先生

内容 老人の保健管理には日常生活で精神面と肉体面の調和が大切であること、また一日に三十分以上活字をみる(よむ)、若い人と会話をすると、病気の際水分補給に気をつける、等

五十九年十二月八日

場所 愛媛県緑化センター

テーマ 正月用盆栽の作り方

出席者 三三名

講師 戸田正利 先生

内容 座学と実技の両面から学習

香川地区

五十九年十一月十四日
場所 高松電電会館

テーマ 近世における高松藩と丸亀藩
 出席者 五六名
 講師 歴史民族協会会長
 市原 輝之 先生

内容 郷土史としての高松、丸亀両藩の近世における推移について、

五十九年十一月二十日
 場所 長尾町大窪寺

テーマ 史跡めぐり

出席者 二名

講師 大窪寺住職 榎野 密純 師
 内容 四国霊場八ヶ所の結願寺としての寺の歴史について

高知地区
 五十九年十二月十日

場所 高知住宅総合ビル

テーマ ストレスと病氣

出席者 六〇名

講師 八井田 盈 先生

内容 老人検診の状況からみて、青少年成人病などの現状と対策について、

電気関係功労者の表彰

去る三月二十五日の電気記念日に満八十才以上の電気関係功労者として次の方々が、社団法人日本電気協会会長から表彰されました。まことにめでとうございます。

- 井上 義勝殿 (高松)
- 岩崎 一水殿 (高知)
- 鶴久森 春信殿 (松山)
- 内田 春雄殿 (板野)
- 大西 万吉殿 (高松)

訃 報

次の方々が逝去されました。謹んで哀悼の意を表しご冥福をお祈り致します。

氏名	死日	行年	所属
松山 久春殿	59.12.14	八〇	松山
梅木 好市殿	59.12.14	八六	松山
仙石 菊馬殿	59.12.23	八八	高知
阿部 大一殿	60.1.3	七三	鳴門
松田 眞吉殿	60.1.10	六三	小松島
松下 芳雄殿	60.1.20	六〇	阿波池田
原 勝一殿	60.2.22	七五	鴨島
宮崎 末晴殿	60.3.11	六〇	須崎
原田 サノヲ殿	60.3.19	七六	高松
大野 定見殿	60.4.1	七五	松山
沖永 唯男殿	60.4.4	九〇	高松

- 岡内 唯志殿 (高松)
- 小野 利喜信殿 (高瀬)
- 賀本 壽栄殿 (松山)
- 日下 久雄殿 (徳島)
- 小谷 秀一殿 (阿南)
- 後藤 又一殿 (高松)
- 小松 重幸殿 (高松)
- 中浜 良雄殿 (高松)
- 福田 義夫殿 (善通寺)
- 福家 辰次殿 (高松)
- 松田 春信殿 (松山)
- 安淵 堅一殿 (徳島)
- 山路 平八郎殿 (高瀬)

余 栄

ご逝去されました左記の方々に対し、電気通信事業に貢献されましたご功績により叙位叙勲が行われました。

- 従七位勲六等瑞宝章 (五九・七・二〇)
- 故 松 本 正 清殿 (坂出)
- 正五位 (五九・九・二四)
- 故 横 山 竹 義殿 (松山)
- 正七位勲六等瑞宝章 (五九・一一・三)
- 故 末 沢 繁 男殿 (坂出)
- 正五位勲五等瑞宝章 (五九・一一・一一)
- 故 松 村 正 一殿 (松山)
- 従六位勲五等瑞宝章 (五九・一一・一四)
- 故 梅 木 好 市殿 (松山)
- 正六位勲五等瑞宝章 (五九・一一・一四)
- 故 松 山 久 春殿 (松山)
- 正七位勲六等瑞宝章 (六〇・一一・三)
- 故 阿 部 大 一殿 (鳴門)
- 正七位勲六等瑞宝章 (六〇・一一・一〇)
- 故 松 田 眞 吉殿 (小松島)

表紙のことは

春

莊野 丹秀 (内海)

こぶし、白木蓮、れんぎょう、春の花が咲きはじめ、やがて五月の鯉職が青空にあがるころまでは、日本で一番よい季節。早く来い。

隨

筆



晩秋の中国路 (二)

猪谷嘉夫

北京 中国の主都で人口九百万。北京の秋は美しいというが左程でもなかった。ただ空港に通ずる並木林は半ば紅葉して美しかった。都心は公共建物やアパートの高層建築が林立し、道路も広く見事な近代化だが、乗用車の通行は稀れて自転車ばかりが混みあう。また一步横町に入れば、色あせた煉瓦造り平家建の陋屋が軒を連ね少々チグハグに思えた。

天安門広場―旧紫禁城前は実に広く、モスクワの赤の広場の六倍程あり、左に人民大会堂、右に労働人民文化宮、後方に毛主席記念堂があるが余りにも広くて小さく見える。この広場で四〇万の集会ができ、東、西両長安街を利用すれば百万の大集会も可能とのこと。

天壇公園 天壇とは皇帝の祭壇の意。老柏樹に囲まれ天安門広場の七倍の広さ。園内中央に祈念殿、遙か南方に少し小規模の二殿がある。白雲を思わす三層の大理石の壇上に建つ祈念殿は、三層円形で高さ三八米。屋根は青瑠璃の葺、木造だが黄金色と丹青の鮮明な色彩は実に美しい。ここで明、清朝の皇帝が春と秋に五穀豊穡を祈ったと伝えられておる。万里の長城 月からも見えると言われ、東

の山海関から嘉峪関まで蜿々六千軒に及ぶ世界最大の築造物。八達嶺までバスで二時間。城壁の高さ六米通路は約五米。当日は天気もよく白亜の長城が嶺々の稜線を蛇行し、数百米毎の監視塔も遠くまで見えた。観光客が多くて写真を撮るに一苦勞。数百年前に補強したままの姿で損壊は見えない。多分観光に開放後、相当手入れをしておるものと思う。

院居士戒名

梶浦照秀(徳島)

わが家は眞言宗で院居士を継いでいる。戒名か俗名かは個々人の問題で他人からとやかく言われるものではない。

戒名は生前に仏門に帰依するための授戒という儀式で与えられる授戒名で、授戒の作法のない眞宗は法名、日蓮宗は法号、浄土宗は誓号、曹洞宗は道元禪師の言葉で、「敬いをもって宗となす」とし、福井県の永平寺、神奈川県の大蔵寺が禪宗の本山となっている。

この禪寺で戒名が問題になり、新聞で大きく報道されたことから、戒名について調べているうちに次第に興味を持つようになった。

戒名は本来葬儀には全然関係なく、生きている間に得るものであったが、現在は葬儀の際死者に与えられるように変ってきており、しかも多額の戒名料を支払わなければならぬ。近くの寺の住職に聞いてみると、寺によって相違はあるが二十万円から五十万円位だと言われ驚いたが、戒名料が寺の重要財源になっていることがうなずけた。

院号が一番上位であった一三〇〇年、足利

尊氏が院に殿を付け加えて院殿号を最高とし、院殿の創始者となった。このあと一五〇〇年代から四文字戒名となり、徳川時代になると戒名にも士農工商と身分制度がつくられ、町人の男女は信士、信女、武家は居士、大姉、大名は院号付き大居士、清大姉となった。

明治にはいり、四民平等となってこの階級制度は解かれたが、戒名により生前のその人の社会的地位、財力、信仰心、人柄などをうかがうことができる。

忠臣蔵の赤穂義士たちの戒名には必ず「刃剣」の二字がはいっている。

大石内蔵助良雄は「忠誠院刃空浄剣居士」

堀部安兵衛 は「刃雲輝剣信士」

不破数右衛門 は「刃観視剣信士」

刃傷で切腹された浅野内匠頭は、

「冷光院殿吹毛玄利大居士」

また、力道山は「大光院力道日源居士」

鼠小僧次郎吉は「教覚速善居士」

俠客清水次郎長は「碩量院雄山義海居士」

この人、三人の奥さんもち、それぞれ初代お蝶、二代お蝶、三代お蝶と同じ呼び名をつけ、戒名は、初代「恩量院」二代「再量院」三代「参量院」とあり墓は清水市の梅蔭寺にある。

祖先の戒名を改めてみて、身分性別、人柄等を推測し故人を偲ぶことも、供養の一つであるが、自分も戒名が気になる歳になって一寸淋しい。



「電信電話と共に」読後感

福間 歎次郎

明けましてお目出度うございます、平素はご無音に過ごしておりますことを、お詫び申し上げます。

さて年頭には、御著書「電信電話と共に」上下二巻をご惠贈にあづかり、まことに有難く、心からお礼を申し上げます。

早速に読ませていただきました。正月はのんびりしておりましたので、好個の読物と、三日間で上巻全部と下巻の大半を、一気呵成に読み、非常な感銘を受けた次第であります。昭和九年四月から翌年三月まで、高等科生としてお世話になった私は、先生からすれば第三回目の教え子になるわけですが、読んでいる中に教えを受けた当時の場面が次から次々と蘇ってまいります。

当時の高等科生は、現業生活を一年乃至数年経験し、苦斗の中から難関を突破したとの気負いもあり、有頂天での生意気でもあったであろう私共を、先生はきわめて冷静に、かつ暖かく引き締めていただいたことが鮮やかに思い出されます。

広島での高等科の一年は、私にとっては実に楽しく、また世間を知り、本当の意味での師に接し、友にふれ得た時期でありました。その意味で、あの一年が私の後の人生に大きな影響を与えてくれたことを思いますと、きこの間に受けたご薫陶に対し、更めてお礼を申しあげたいと思います。

卒業してからは、永い戦争の時代に入り、戦災、敗戦、さらに二省分離等々、懸命に生

きた激動の時代、先生のご消息も詳かに知り得ないままに五十年の歳月が経過いたしました。この間、昭和五十年に広島での通信同窓会の地方全国大会で久しぶりにお目に掛る機会を得ましたが、親しくお話を承わる時間もなくて打過ぎました。

このたび御著書を読ませて頂いている中に、知らず知らずの中にあの高等科の教室の延長のような気持で、その後の先生の過ぎ越し方を静かにこと細かく語りかけて下さっているかのような錯覚を覚えることとなりました。

「先生もずいぶん苦労なさいましたね、それでもやっぱり先生は立派だったなあ、本当に良くやっていただいたものだ」と畏敬と感嘆の入り混じった思いが湧いて参ります。

御書の内容が通信事業という同じ空気の中というところもありましょうが、何としてもそのご文章が実に読み易い、流れる如くに私の心に浸み通る感じがいたしました。文章批評など失礼な言い方ですが、華麗さのない、然し着実で行き届いた、まことに達意のご文章と感服いたしました。中でも人物に対する見方、その描写が適確で、具体的に簡潔。荒木通信局長のくだりなど人物が彷彿として感動を誘う次第であります。

然し、何にもまして魅きつけられたのは全巻を通じて先生の生き方が明瞭に示されていることです。いつも冷静に自己と環境を見ながら事業の推進に精魂を傾けて対処されている姿勢と気迫が随所にうかがわれます。中でも松山戦災後の訓練継続、学園の復興へのご苦労など貴重な記録であると存じます。

いづれにしても、この「電信電話と共に」

上下二巻は、先生が全力を尽して生きられた輝やかなしい金字塔でありますし、更らにあと続く事業の後輩に多大の示唆を与える貴重な資料であると存じこの書のご刊行を、心からお祝い申し上げます。

最後に先生のご健康とご長寿をお祈り申し上げます。

(編集者註、福間歎次郎氏は二省分離後郵政省所屬となり、下関地方貯金局長を最後に定年で退官された方です。)

投稿規定

- 一 会員消息 四〇〇字以内
 - 二 短歌、俳句、川柳 五首又は五句以内
 - 三 随筆、随想 六〇〇字以内
- 原稿締切 五月二〇日
原稿の取扱についてはお任せねがいます。

電友会四国連合会会報 第五〇号

昭和六〇年四月一日発行

編集発行 電友会四国連合会

事務局

松山市一番町四丁目(二十七九〇)

NTT四国総支社内

電話(〇八九九)三六一二〇二三

印刷 四国電話印刷株式会社



未来を考える人間企業

日本電信電話株式会社

わたし、ハウディ買ったワ。

機能多彩、タイプいろいろ。電話機はやっぱりNTT。

デザインで選ぶ、機能で選ぶ。

フッシュホン

ハウディ
シリーズ

新発売

ピラミッドタイプ
16,200円

- 先進の機能とデザイン。使いやすさで選べる5タイプ6機種。
- お部屋に合わせて選べる、全機種楽しい4色のカラーバリエーション。
- 全国1700カ所、NTTならではのサービスネットワークで後々まで安心です。
- らくらくお支払いの方法も各種ございます。お気軽にご相談ください。

スリムタイプ



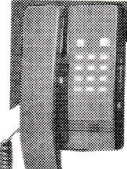
- 16,200円
- 時計・保留音付 24,800円

ミニタイプ



- 14,100円

ワールタイプ



- 16,200円

ワイドタイプ



- 16,200円

※価格はいずれも本体のみ
コード代及び工事費は別途申し受けます。

電話機のお求め、お問い合わせはお近くの電話局へ。NTTマンがお宅へお伺いします。